

「風の電話」 映画鑑賞

大切なひとへ、今だから伝えたい
失って傷ついた気持ちに寄り添う災害ボランティア養成講座—特別編



風の電話

今だから、伝えたい

天国に繋がる電話に導かれて、
傷ついた日本を辿る、
少女の出会いと再生の物語。

モトーラ世理奈
西島秀俊
西田敏行(特別出演)
三浦友和

渡辺真起子 山本未來 占部房子 池津祥子 石橋けい 篠原篤 別府康子
監督:諏訪敦彦 脚本:狗飼恭子・諏訪敦彦 音楽:世武裕子
企画・プロデュース:泉 英次 プロデューサー:宮崎 犬 長澤佳也
エグゼクティブプロデューサー:青村麻実 中西康浩 小金澤剛康
撮影:灰原隆裕(J.S.C.) 照明:舟橋正生 録音・監音:山本タカアキ 美術:林 ナナ
スタイリスト:宮本葉莉 ヘアメイク:寺沢ルミ 編集:佐藤 崇 助監督:是安 苗 制作担当:熊谷 悠
企画協力:佐々木 格 佐々木祐子
後援:岩手県 岩手県教育委員会 大槌町 大槌町教育委員会 協賛:イオンモール 三ツツ
製作:ブロードメディア・スタジオ テレビ東京 電通 イオンエンターテイメント 朝日新聞社 岩手日報社 河北新報社 福島民報社
制作プロダクション:ジャンクドราม 制作・配給:ブロードメディア・スタジオ Broadmedia 配給協力:イオンエンターテイメント
©2020 映画「風の電話」製作委員会
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
kazenodenwa.com

©2020映画「風の電話」製作委員会

6月27日(土) 13:00-16:00

今回の講座では、映画上映を通して、被災した方の気持ちに寄り添うこと、そして自身の暮らしや大切な人との関わりについて考えます。災害を「遠くの出来事」ではなく、自分たちの暮らしにつながるものとして、一緒に見つめてみませんか。

The Letter

会場 福岡市市民福祉プラザ 視聴覚室 (福岡市中央区荒戸 3-3-39)

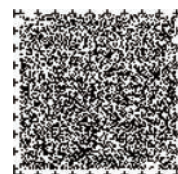
参加費 無料 **定員** 50名(先着順・要申込み)

お問合せ TEL: 092-724-4801 MAIL: info@fnvc.jp

申込み 6月20日(土)までに、2次元コードからお申し込みください。



これは、音声コードUni-Voiceです。

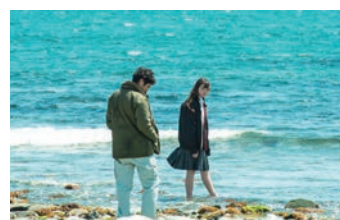




もう一度、話したい人がいる。傷ついた人々に寄り添う感動の物語。

岩手県、大槌町に存在する〈風の電話〉。電話線の繋がっていないその電話は、「天国に繋がる電話」として人々に広まり、東日本大震災以降、3万人を超える人々が、この場所を訪れている。映画『風の電話』は、この電話をモチーフにした初めての映像作品。監督は、フランスをはじめヨーロッパで圧倒的な評価を受けている諏訪敦彦。広島から故郷の大槌町へと旅する主人公ハルを、注

目の女優モトローラ世理奈が演じ、西島秀俊、西田敏行、三浦友和ら日本を代表する名優たちが、彼女の熱演を温かく包む。現場の空気感まで切り取る諏訪監督ならではの手法によって、魂のこもった俳優たちの演技が胸を打つ本作。唯一無二の映画体験が見る人の人生に優しくそっと刻まれる、今だからこそ届けたい、珠玉の感動作が誕生した。



あの日以来、訪れていない故郷・岩手の大槌町へ。出会いと別れを繰り返し、再生へと向かうハルの旅。

17歳の高校生ハル（モトローラ世理奈）は、東日本大震災で家族を失い、広島に住む伯母、広子（渡辺真起子）の家に身を寄せている。心に深い傷を抱えながらも、常に寄り添ってくれる広子のおかげで、日常を過ごすことができたハルだったが、ある日、学校から帰ると広子が部屋で倒れていた。自分の周りの人が全ていなくなる不安に駆られたハルは、あの日以来、一度も帰っていない故郷の大槌町へ向かう。広島から岩手までの長い旅の途中、彼女の目にはどんな景色が映っていくのだろうか――。

憔悴して道端に倒れていたところを助けてくれた公平（三浦友和）、今も福島に暮らし被災した時の話を聞かせてくれた今田（西田敏行）。様々な人と出会い、食事をふるまわれ、抱きしめられ、「生きる」と励まされるハル。道中で出会った福島の元原発作業員の森尾（西島秀俊）と共に旅は続いていき…。そして、ハルは導かれるように、故郷にある〈風の電話〉へと歩みを進める。家族と「もう一度、話したい」その想いを胸に――。

大切なひとへ、今だから伝えたい

失って傷ついた気持ちに寄り添う
災害ボランティア養成講座 | 特別編

The Letter

関連企画 「大切なあなた」へのメッセージ

家族や友人、恋人へ。普段はなかなか伝えられない想いを、手紙にしてみませんか。この企画では、あらかじめ書いてきていただいたお手紙を会場でお預かりします。

お預かりしたお手紙は、NPO法人みらいぼすと協力のもと、未来の自分や大切な人へ手紙を届ける「みらいぼすと」を通して、2027年3月11日にご希望の場所へお届けします。（封筒は会場でご用意しています）

今だからこそ伝えたい言葉を書いてみませんか。

